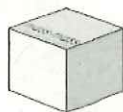


地域づくり大学校 つながる！地域活動ゼミ

～ プロボノをはじめよう ～

Kiico | KANNAI
INNOVATOR
INITIATIVE



関内イノベーションイニシアティブ株式会社
高瀬桃子

高瀬 桃子

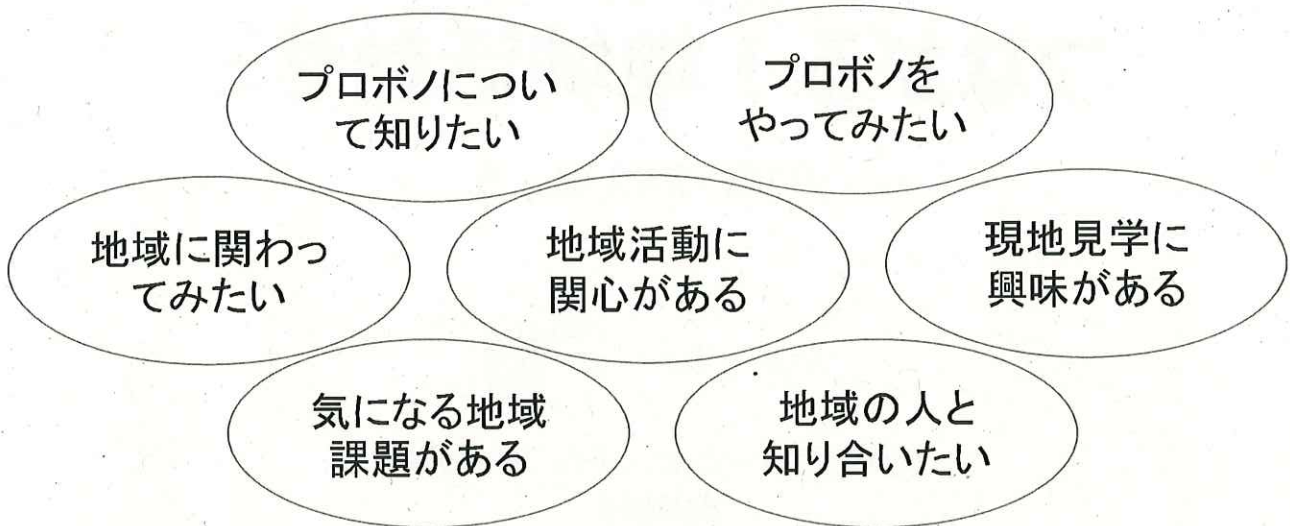
関内イノベーションイニシアティブ株式会社 事業スタッフ
東京大学大学院情報学環 特任研究員 ほか

公益財団法人2団体での勤務等を経て、現在NPO伴走支援や
起業支援を行う傍ら、個人事業としてコピーライティング研修等を行う。

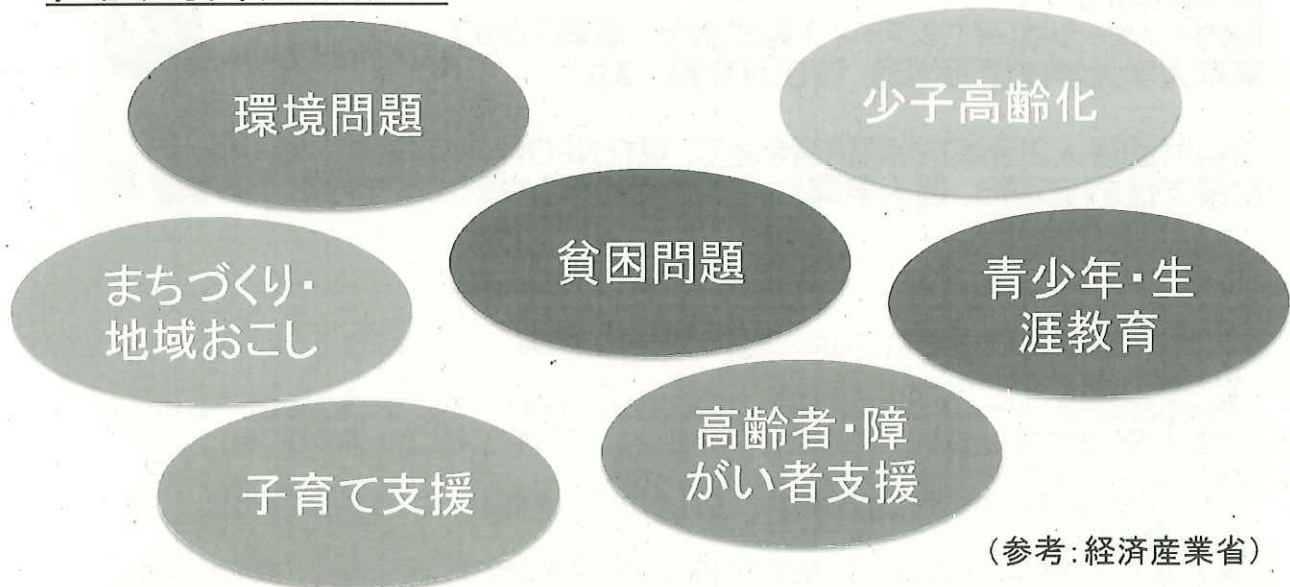


- ・2013年～2019年
NPO法人サービスグラントにて、プロボノプロジェクトを4回経験。
- ・2016年～2022年
横浜市経済局ソーシャルビジネス成長支援事業「ヨコハマ・イノベーションスクラム・プログラム」や
次世代郊外まちづくり「プロボノ実践講座（青葉区）」でプロボノ事務局や講師を担当。
- ・2018年～2020年
立教大学大学院社会デザイン研究科にて、プロボノの個人的意義について研究を行った。
- ・2022年～現在
東大積水ハウス共同プロジェクトで、働き方と暮らし方に関する研究に研究員として携わっている。

「つながる！地域活動ゼミ」に参加しようと思った きっかけや理由は何ですか？



社会的課題とは？



地域課題って？

「地域課題」

- ・ 防災や防犯
- ・ 商店街の衰退
- ・ 地域コミュニティの衰退
- ・ 買い物難民、移動手段の不足
- ・ 空き家問題
- ・ 子どもの居場所 など

当事者としての
課題意識

地域をもっと
よくしたい！

(参考：総務省・中小企業庁)

社会的課題や地域課題の状況

・社会的課題や地域課題が山積み

人口減少、少子高齢化などによって、社会や地域には課題が山積。行政がカバーしきれない分野、企業が取り組むには利益を出しにくい分野があり、その領域で活動をする組織がいろいろある。

その課題や活動内容は多様。たとえば、障がい者の雇用づくり、親子カフェや子ども食堂の運営、高齢者の買い物支援、不登校児の居場所づくり、医療ケア児に対する支援、食と農に関する普及活動、防災に関する普及活動、など。

・社会的課題や地域課題に取り組む団体の状況

法人の種類も多様。その多くが、人手不足・資金不足の状況にある。

プロボノとは？

「プロのボランティア」の略ではありません。

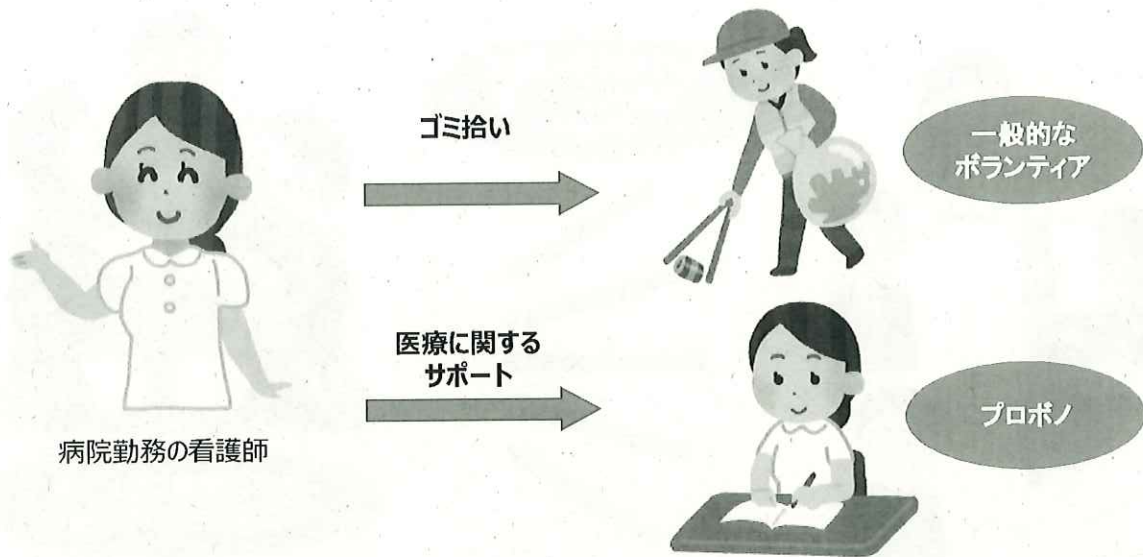
ラテン語で「**公共善のために**」を意味する
pro bono publico の略です。

1980年代米国法曹会が全米の弁護士に年間50時間以上のプロボノ活動を奨励したことがはじまり。

プロボノとは？

プロボノとは、
社会人経験で得られた
スキルや**知識**を活かして行う
ボランティア活動

どのような活動がプロボノ？



2023/6/18

関内イノベーションイニシアティブ株式会社©

9

一般的なボランティア活動との違い

プロボノはボランティア活動のなかでも、
個人が培ったスキルや知識を活かして、
団体運営に大きく関わる業務を担うボランティア活動

【ボランティア】

自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為。
主体性、社会性、無償性、先駆性に基づく活動。

【プロボノ】

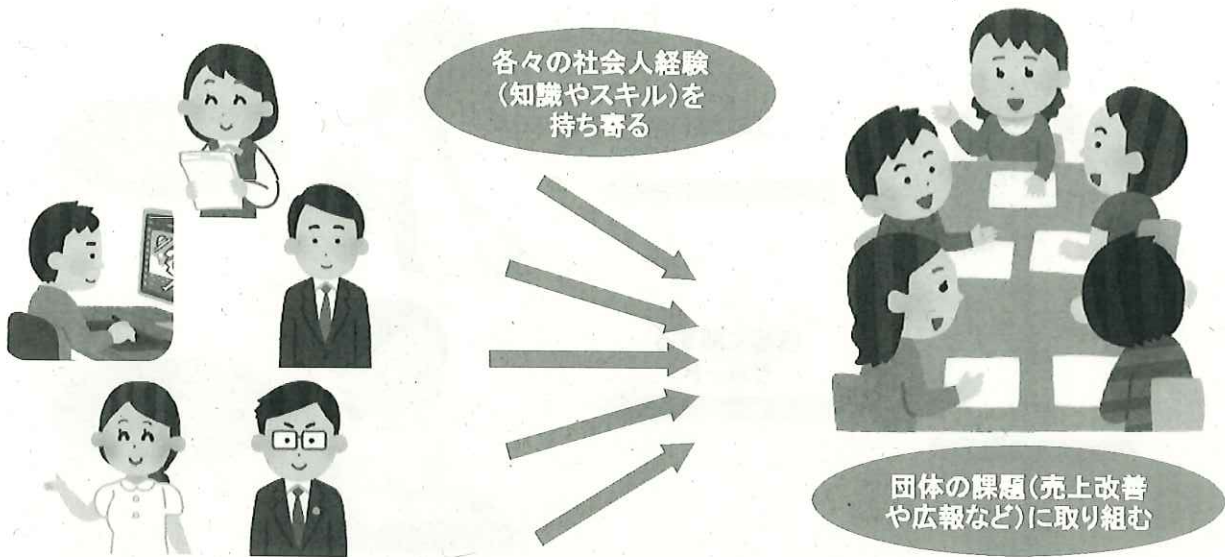
(参考: 高瀬2020)

2023/6/18

関内イノベーションイニシアティブ株式会社©

10

チームで行うプロボノ活動



2023/6/18

関内イノベーションイニシアティブ株式会社©

11

プロボノの特徴 (期間限定orプロジェクト形式の場合)

・やることが明確！

期間限定やプロジェクト形式では、ゴールが決まっています、それぞれのスキルや知識に応じて役割が与えられることも多い。

・ゴール達成(期間終了orプロジェクト完了)とともに一旦解散

支援先団体が課題山積であっても、ゴール達成とともに支援を一旦終了。チームも解散。ただし、その後も関わりを持ちたい人は継続して直接団体から単発や期限を設けず継続して、各種業務を請け負い、プロボノやボランティアを続けることもある。

2023/6/18

関内イノベーションイニシアティブ株式会社©

12

プロボノは働き方のひとつ

・人生100年時代／セカンドキャリア

ファーストキャリアで定年まで勤め上げる人、定年前にセカンドキャリアに踏み出す人、定年後を見据えてセカンドキャリアを検討し始める人など多種多様。

・働き方改革／副業解禁／複業／パラレルキャリア

働き方改革のひとつとして、2018年に政府は副業解禁に舵を切った。特にコロナ禍を経て、状況が激変。在宅勤務で地域に目が向いた人も。また、「本業-副業」から、「複数の仕事を行う」、「同時並行で仕事を行う」への変化の流れ。

プロボノ活動の事例

- ・ WEBサイト、営業資料、リーフレットの作成
- ・ イベントの企画運営
- ・ 企業向け営業資料作成のサポート
- ・ 年間広報計画の策定
- ・ 広報媒体の改善アドバイス
- ・ 会員制度の策定
- ・ 顧客や関係者へのヒアリング
- ・ 寄付金に関する活用アドバイス
- ・ 事業の棚卸、サービス見直しの提案 など



プロボノ活動を通して & その後

- 知らない世界を知ることができた！
- NPOのことが分かった！
- 自分の新しいスキルが開拓できた！
- 本業ではできないことに挑戦できた！
- 本業に役立つスキルを得られた！
- 新しいつながりができた！（プロボノの仲間とも、NPO団体とも）
- 自分について知ることができた！
- 多様な人たちから学びを得られた！
- 本業に立ち返るきっかけになり、本業を改めて頑張ろうと思った！
- プロジェクト後も団体と関係を持ち続け、時々サポートをしている ほか



プロボノ経験者の事例紹介

「ヨコハマ・イノベーションスクラム・プログラム」参加Fさん

プロボノ後にフリーランスを経て起業。横浜で生まれ育ちながら横浜で一度も働いたことがなく、「自分が暮らす街でいつか起業してみたい」と思っていたことからプロボノに参加。プロボノの一人として活動したことで「人生が変わった」。現在は大手ベンチャー企業の子会社となり、益々の活躍が期待される。



引用元: <https://jisedaikogai.jp/report/probono-basic>



「プロボノ実践講座（青葉区）」参加Yさん・Nさん夫妻

Yさんは地元で活動できることを探していてプロボノに出会う。経営者としての知見を活かしつつNPO団体に寄り添い支援を行った。プロボノ期間が終わってから1年ほど関わり続けた。現在は「まち活パートナーズ」にも登録し、地域に関わり続けている。

Nさんご夫妻は初年度に夫がプロボノに参加、妻が次年度に参加。夫は本業でのプロジェクトマネジメントの経験を活かし貢献。妻はプロボノ経験後、そこで出来た人脈を活かし、現在では地域のNPO団体に繋がり、本業のスキルを活かした活動に取り組んでいる。